

お知らせ

〇行事について

10月「さくらシネマ」	1A病棟—10月16日(月)～10月20日(金)
	1B病棟—10月23日(月)～10月27日(金)
12月「クリスマス会」	1A病棟—12月11日(月)～12月15日(金)
	1B病棟—12月 4日(月)～12月 8日(金)



昨年の4月より1A病棟を担当していましたが、10月からやまと精神医療センターで勤務することとなりました。
 新卒で入職し、緊張しながら過ごした1年半でしたが、患者様やご家族、後見人様は温かく接して下さい、感謝の気持ちでいっぱいです。
 また、日頃の活動の中で、患者様からたくさんの笑顔をいただけたことが私自身、かけがえのない経験となりました。
 短い間ではありましたが、ありがとうございました。

保育士 石橋 遥



— 編集後記 —

残暑が厳しい秋ですが、それでも中庭では秋の虫たちが、朝夕と素敵な音色を響かせていて、空を見上げるとあかね雲がひろがっています。四季折々の姿を奈良医療センターのさくら病棟からも感じることができます。

療育活動でもそんな季節の変化を感じて頂けるように心がけ、工夫した活動をおこなっています。

発行元:奈良医療センター
 療育指導室
 発行月:令和5年10月

バンビ通信「そよかぜ」

81号 令和5年10月

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定(第2報)について

奈良医療センター 療育指導室
 療育指導室長 佐村 知哉

平素より、皆様方につきましては、当院の運営にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、7月はバンビ親の会月例会、9月は個別支援計画書の間接評価面談が約3年ぶりに実施され、少しずつですが、段階的に院内の運用が緩和してまいりました。今後も、当院で開催しているCOVID-19対策会議を中心に、感染状況を注視しながら運用緩和に努めていきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

この度は令和6年度障害福祉サービス等報酬改定の第2報についてご説明させていただきます。

前回7月のそよかぜでは、各団体とのヒアリングについてまでをご説明させて頂きましたが、8月上旬で47団体とヒアリングが終了し、8月下旬の検討委員会で各団体からの意見を集約している状況にあります。

検討する論点として、以下の3点が挙がっています。

1. 障害者が希望する地域生活を実現する地域づくり
2. 社会の変化等に伴う障害児・障害者のニーズへのきめ細やかな対応
3. 持続可能で質の高い障害福祉サービス等の実現のための報酬等の見直し

1.に関して、医療と福祉の連携の推進を目的として、下記4点が挙げられていますが、特に②は、重症心身障害児者を守る会や国立病院機構からも意見を挙げていた事項であり、長期入院患者に限らず在宅患者に対してもサービスの質を向上させる運用になればと思います。

- ①相談支援と医療との連携のさらなる促進策
- ②医療的ケア児の成人期への移行にも対応した医療的ケアの体制の充実を図るための方策
- ③重度障害者が入院した際のコミュニケーション支援の充実
- ④障害者支援施設等における医療機関との連携強化・感染症対応力の向上

現在は、在宅支援事業から横断的事項を整理して、具体的な検討が行われていますが、今後、重症心身障害、神経筋・難病等の重度の障害者に関する事項も検討される予定になっています。当院としても、動向を注視しながら院内の運用を構築すると共に、ご家族の方々に情報提供させていただきます

目次	〇巻頭言「令和6年度障害福祉サービス等報酬改定(第2報)について」	・・・1
	〇さくら病棟 7月行事 沖縄美ら海mini水族館	・・・2
	〇さくら病棟 療育活動紹介など	・・・3
	〇お知らせ・編集後記など	・・・4

－ 行事紹介 －



沖縄美ら海mini水族館



1F療育訓練室全体に3枚の大きな布を使い、沖縄美ら海水族館のオリジナル映像を映し出しました。大水槽の中にいるような気分で、沖縄の生き物たちの雄大な世界を楽しみました。スヌーズレン室には、クラゲの映像を映し「クラゲネタリウム」と名付けた空間を作りました。壁や天井に映る様子を嬉しそうな表情で眺め、ゆっくりとリラックスした時間を過ごしていただきました。

またふれあいコーナーでは、魚カードや砂浜の砂、ワカメや貝殻など海の自然にも触れていただきました。



－ 療育活動紹介 －



創作活動



花火やはがきの製作を行いました。段ボールを使った製作では、“花火”の形に切った段ボールに、絵の具をつけスタンプをしました。好みの色を選び色鮮やかな花火が出来上がりました。

はがきの製作では、水を入れたペットボトルにパルプとお花紙を入れ振りまわしました。素敵な「はがき」が仕上がり、どちらの活動も楽しそうな表情で参加されていました。



夏の感覚療育

夏の暑さが深まる中、療育活動では「夏」ならではの活動を行いました。ゼリーや寒天、氷を使ってオリジナルデザートやオリジナルソーダを作り、冷たさや感触を楽しみました。

他にも中庭で獲れたスイカで、スイカ割りを行いました。割れたスイカはスイカジュースや、フルーツポンチにして楽しみました。冷やしたスイカのひんやりとした触感や甘い香りを感じたりすると、思わず口元が緩む様子や優しい表情が見られました。



夏の音楽療育

今回は「うみ」や「南の島のハメハメハ大王」などの夏の楽曲を、波の音ができるオーシャンドラムの音色や、民族楽器のカリンバを使用して夏の音色を表現し、楽しみました。オーシャンドラムの音が聞こえてくると、心地良い音を感じて楽器を見つめたり、ドラムの中の粒が揺れる様子を見つめておられました。音色や歌にも工夫して、季節を感じられる音楽療育活動でした。

